

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

(実施期間：平成 27～令和 2 年度)

代表機関：新潟大学（総括責任者：牛木 辰男）

共同実施機関：株式会社タケショー

取組の概要

新潟県の女性研究者の活躍促進を図るために、代表機関である新潟大学がイニシアティブをとり、「上位職登用推進プログラム」「両立支援プログラム」「研究力向上プログラム」を実行することで、連携機関における女性研究者の採用・上位職登用に係る意識改革とマネジメント改革を促進するとともに、女性研究者のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて個々のニーズに応じたテラーメイド支援を提供することで、ライフイベントに妨げられずに継続的研究が行える研究環境を実現し、女性研究者が代表の新たな共同研究を複数創出する。そうすることにより、新潟県の女性研究者の質的保証と量的拡大を促進し、研究の力量を付けた女性研究者が組織に定着して地域産業等の活性化に貢献することを目指す。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	a	s	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

代表機関の学長のリーダーシップの下、地域の大学と企業が連携し、両立支援のための「支援員制度」や「モバイルワーク制度」、自然科学系分野の女性研究者の積極的な採用を目指した教員の「女性限定公募」、上位職登用を目指した「リーダー・プレリーダー研修」や「上位職シャドウイング研修」等、特色ある取組を総合的に実施し、ライフイベントを理由とする女性研究者の離職の抑制、工学部女性教員の大幅な増加、工学部及び理学部における女性教授の誕生、女性部長の誕生といった着実な成果に繋がったことは評価できる。また、2機関の連携に留まらず、新潟県内の大学、高等専門学校、研究所、企業の8機関を協力機関とし密接な連携を図り、先導的な取組の普及を進め、高い波及効果を及ぼした。今後も、新潟地域における女性研究者活躍促進におけるリーダー的役割を担うことを期待する。

- ・ **目標達成度**：代表機関においては、「女性限定公募」、「上位職シャドウイング研修」等の取組を創設し、女性研究者のための上位職登用システムを構築する目標を達成しており、また、女性教授比率に係る目標をほぼ達成しており評価できる。共同実施機関においては、「リーダー・プレリーダー研修」等の取組により上位職比率に係る目標を達成し、女性部長2名を誕生させており評価できる。
- ・ **取組**：両立支援のための「支援員制度」や「モバイルワーク制度」、研究力強化や上位職登用を目指した「連携型共同研究スタートアップ支援制度」、「リーダー・プレリーダー研修」、「上位職シャドウイング研修」等、特色ある取組を総合的に実施するとともに、県内の8協力機関へ取組好事例を効率的に普及させ成果に繋げており高く評価できる。

- **取組の成果**：代表機関においては、自然科学系分野教員の「女性限定公募」、部局数値目標の設定とモニタリング等の実施により、自然科学分野の女性教員 22 名が採用され、工学部と理学部で女性教授が誕生した。また、共同実施機関においては、女性上位職比率が大幅に向上し、女性部長 2 名が誕生しており評価できる。連携する 2 機関に留まらず、新潟地域全体に女性研究者活躍促進の取組が浸透しつつあることは連携型の成果として評価できる。
- **実施体制**：代表機関の学長のリーダーシップの下、代表機関と共同実施機関が参画する「連携協議会」、更に県内 8 つの協力機関が参画する「連携協議会総会」を創設し、女性研究者活躍促進の取組を代表機関と共同実施機関に浸透させるのみならず県内に広く普及させる体制を構築したことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：代表機関においては、「男女共同参画推進室」を「ダイバーシティ推進室」へ発展的に改組し、また、共同実施機関においては、「ダイバーシティ推進担当」を務める女性課長を経営推進部部長に就任させ、これまで以上に盤石な体制で取組を進めており評価できる。異分野融合による共同研究の支援を進める既存の「U-go グラント」に女性枠を設けることにより、女性研究者を研究代表とする共同研究の支援を継続して実施しており今後の展開が期待できる。